

けん引式車いす補助装置 JINRIKI® (じんりき) のご案内

車いすを「人力車」のように「前輪を浮かせて引く」ことでこれまで困難だった悪路の移動を可能にしました。



こんなシーンで力を発揮します。

その1 すべての人に地域の観光の魅力を届ける。 「行けますよ！」と声をかけたい。

旅先では自然を感じてもらいたい。草地、砂浜、積雪路、未舗装の砂利交じりの道に簡単にいけると思えば、遠慮してあきらめることがなくなるはず。

その1 観
「行けま



その2 きたるべき災害に備える。 「逃げましょう！」誰一人取り残さないために。

がれきを超えての移動、階段避難などが格段に容易かつスピーディにできます。ひとが集まる場所に常備し、お住いの地域の消防防災訓練の中に取り込むことで、だれもが安心した暮らしを送ることができます。



JINRIKI®は二つのタイプから選べます。

車いす 1 台で利用するならJINRIKI®, 多くの車いすに同時に利用するならJINRIKI® QUICK が便利です。

商品写真	商品名	説明	価格
	JINRIKI® (じんりき)	けん引式車いす補助装置 JINRIKI® (じんりき) は、装着ユニットとけん引ユニットから構成されています。けん引ユニットをボルトで車いすに固定し、けん引ユニットを装着ユニットに差し込みます。不要な場所ではけん引部をはねあげておくことができます。	54,780円 (税込/送料込)
	JINRIKI® QUICK (クイック)	簡易装着型 けん引式車いす補助装置 JINRIKI® QUICK (じんりきクイック) は、けん引ユニットのみで構成されています。車いす本体の前部のパイプを挟んで固定します。JINRIKIのようなけん引部分のはねあげ機能はありません。	54,780円 (税込/送料込)
	J-MultiBag J-MultiBag (ジェイマルチバッグ)	Jinriki® Quick (またはJINRIKI®) の収納・運搬用のバッグです。Jinriki® Quickを外した時にこのバッグを使って背中に背負うことでハンズフリーでの操作を可能にします。	28,380円 (税込/送料込)
	Jinriki® Quick II JINRIKI® QUICK II (クイックツー)	Jinriki® Quickと収納用J-MultiBag セット。今お使いの車いす・備蓄されている車いすに簡単装着で、驚くほどスムーズな移動を可能にします。	71,280円 (税込/送料込)

日本福祉用具評価センター (JASPEC) テスト完了
国内特許・PCT (国際特許に準ずる)
中国商標登録・中国意匠登録・中国特許申請済み
実用新案 登録第 3 1 7 5 8 3 2 号
意匠登録番号 登録第 1 4 7 9 6 8 4 号
商標登録番号 登録第 5 5 6 3 1 7 2 号
セントラルクリニックグループ監修

製造元 株式会社JINRIKI
長野県上伊那郡箕輪町中箕輪9514-1

購入お申込みはこちらのリンクから、もしくは下記販売・問い合わせ先にご連絡をください。



販売・問い合わせ先
おはようトラベル株式会社
206-0802東京都稲城市東長沼568-11 HPビル 2F
電話 042-315-3261 Fax 050-3588-0678
メール info@ohayotravel.com

JINRIKI®活用の様々なシーン

Sightseeing - 観光・野外活動の可能性を広げる

JINRIKI®導入で、観光地としての魅力を高めることができます。

JINRIKI®の利用は、今まであきらめていた観光地へのお出かけ時に悪路、段差を乗り心地よくスムーズに移動ができます。

1. 公園の芝生や土の路面、スキー場の積雪、海水浴場の砂浜、神社仏閣の石畳や玉砂利
前輪を持ち上げて移動することで移動が容易になり、また、振動が軽減し、乗り心地もよくなります。

2. 坂道の多い観光地も軽々移動。登山もできます。
坂道は日本全国どこに行ってもあります。JINRIKIなら車いすを押す場合と比べて小さい力で坂道を上ることができます。前後に二人で押せばさらに楽に坂道を上ることができます。

3. 車道と歩道の段差、線路の溝などでの事故防止
前輪を浮かせた走行のため、車いすの前輪が引っかかる事故が防げます。

車いす利用者が所有するのみでなく、観光地において、宿泊施設や観光協会などが、設置し、レンタルすることが、人にやさしい観光地としての魅力を高めることにつながります。

日本バリアフリー観光推進機構、日本ユニバーサルツーリズムのセンターの各センターで利用されています。

Emergency - 防災用品として常備する。

公共施設に常備することで、災害時要援護者の避難等に抜群の威力を発揮します。

災害の現場で、下記のような方々を誰でも簡単に迅速に避難することができます。

- 車いす利用者、
- 妊娠中の方、
- 高齢者、
- 乳幼児、
- 視覚に障害のある方、
- 知的障害の方、
- 病人、
- けが人

災害時の避難等を迅速におこなうために、JINRIKI®を使えば、いまある車いすに装着するだけで、緊急時に一般の健常者が要援護者の避難行動を容易に補助することができます。

公共施設など、車いすのある施設に常備することで、災害発生時の避難・移送に抜群の威力を発揮します。

Education・学校の防災教育で活用する

高台への避難や、長距離を早く移動するときの最大の戦力・・・それは、児童・生徒達です

JINRIKI®を学校教育に導入することで得られる様々な教育的効果が得られます。

1. 地域と連携した防災訓練に参加することによる防災意識の向上

中学校・高等学校と地域の福祉施設などが連携して合同の防災訓練を行うことで、要援護者避難と防災意識の向上を同時に実現できます。

2. 要援護者に対応することが身近に

一般に生徒児童だけで第三者の車いすを操作することはとても困難だが、JINRIKI®を装着することで安全に移動が可能になり車いす利用者をより身近に認識できます。

3. 障害を持つ生徒・児童の学校行事への参加促進

学校にJINRIKI®QUICKを配備しておくことで、車いすの子供達運動会や遠足・修学旅行など、様々な活動に参加が可能になります。

Welfare : 介護の現場を安全に、楽にする

外出支援の大きな味方になります。

外出支援の場面で、より容易に、より安全な移動を可能にします。

1. 介助者が車いすの前方で対応することにより 前方の障害物にぶつかる危険を回避できます。
2. 前輪を持ち上げることで、路面の振動が軽減できます。
3. 車いす前方の座面が上がるので、一定の斜度までならば下り坂を前向きに降りることも可能です。
4. 「押す」よりも、「引く」ことにより体全体の筋力を利用できるので、楽に且つスムーズな移動が可能になります。

*JINRIKI®は介護保険の適用が可能です。

Mental Health - こころの健康に効く

車いす利用者の行動を広げることが、心身の健康増進に役立ちます。

車いすユーザーが今まで「我慢」してきた様々なことの大きな要員のひとつに、悪路・不整地への乗り入れが困難であるということがありました。

自走が困難な環境では、介助者への負担を考慮し、結果として「出かけない」という選択をとらざるを得ないことが多くあります。

JINRIKI®を利用することで、介助者に対する過度な配慮を軽減し、車いすユーザーの視野や行動範囲が広がることによる、メンタルヘルスの向上が期待されています。

起業 @信州

車椅子は押すものという昔からの常識を覆し、人力車のように引っ張るのがけん引式車椅子補助装置「JINRIKI」だ。ものづくりと無縁だった中村正善社長の強い思いが結実した。坂道や段差、砂利道を押し進むのは大変だが、JINRIKIを装着し前輪を浮かせて引けば楽に移動できる。観光用や防災用に利用が広がっている。

中村氏は高地アルペン

けん引式車椅子補助装置販売

JINRIKI社長 中村 正善氏

観光・防災利用広がる



JINRIKIを装着した車椅子を引く中村社長氏

▽所在地 長野県箕輪町中箕輪9514の1

(☎ 050・5835・1000)

▽代表者略歴 なかむら まさよし アコムで金融システム開発。金融コンサルタント会社、ホテル勤務などを経て2012年にJINRIKI設立。東京都出身。60歳

▽事業所概要 福祉用具と防災・災害用品の開発、設計、製造、販売

ホテル（長野県松本市）に勤務していた際、地域活性化のため障害者や高齢者を誘致しようと、けん引式車椅子を考案したが夢に終わった。「あれを作れば人の命

った。転機は2011年3月11日の東日本大震災。避

難でできない家族と一緒に犠牲になった人もいたと聞いて

象の避難訓練を初実施し、

を助けられる」。翌月に会社を辞めた。

しかし、金型も見ただけでない素人。ホームセンターで鉄パイプを買い、手で曲げて車椅子に取り付けるところから始めた。多種類の車椅子に装着できなければ意味がない。失敗を繰り返して試作品が完成し、世界特許も取得した。試作品を見た車椅子メーカーから独占契約を求められたが、すべて断った。多くの車椅子

JINRIKIを装着した車椅子利用者が健常者と一绪に避難できた。利用者の付税措置の対象にもなった。

一人が「私たち家族の命の恩人です」と中村社長の手を強く握った。その一家は津波が来たら人生終わりとおさまらめていたという。「俺がやらなかったら誰がやる」と、覚悟を決めた。

車椅子に常時装着する「JINRIKI」と緊急避難時や屋外にいる際にワンタッチで装着する「JINRIKIクイック」を合せて累計5000台を販売済み。防災用が5割、観光用3割、個人用2割。東

「熊野古道や伊勢神宮など各地で使われている。地方交付税措置の対象にもなった。

同様の車椅子補助装置は9社11商品に広がり、8社10商品は中村社長が監修している。「1社独占では世界に広がらない。発案者は私。作るのは別の会社でいい」と語る。20カ国以上から問い合わせがある。

中村社長は弟が障害者で子ども頃から車椅子を押

のは「出かけること、避難すること、命をまもること、命をまもること」。「バリアフリーからバリアバスへ。バリアをなくせないと越えてしまえはいい」の2点。一層の普及に力を入れる。

(宮内 慎一)

長野支局 0266-2332-2111
松本支局 0266-3136-3007